

ボ"30"グ



—ボランティア選びで失敗したくない人のための情報集—

ボラログとは？

実際にボランティアに参加した学生の感想を集めて編集した情報集です！

「コロナ禍の中でもたくさんの人にボランティアを知ってもらいたい！」という気持ちで作成しました！コロナ収束後のボランティア選びに役立ててください！

こんな方におすすめ！！

- ・どのボランティアがいいか迷っている人！
- ・どういうボランティアの種類があるのか気になる人！
- ・ボランティアってどういうことをするのか気になる人！

目次

ボランティア名をクリックすればそのページに移動できます！

災害支援

[P5 熊本地震現地ボランティア](#)

[P14 台風19号長野県災害ボランティア](#)

[P16 取り残さない！障害者の災害支援](#)

国際交流

[P18 第5回日中NGO・ボランティア研修 交流事業](#)

障害者支援

[P22 たんぽぽ](#)

[P24 YEVIS](#)

自然

[P26 自然とあそびの教室](#)

子ども・青少年

P28 ともだち食堂

P30 さぽさぽ

P33 ALIVE

P35 西宮地区BBS会

祭り・イベント

P37 大江神社夏祭り

P39 納涼祭

P41 大阪マラソン

まちづくり・福祉

P47 ふらっとパーク

熊本地震現地ボランティア

実施場所：熊本県上益城郡益城町 ジャンル：災害支援
活動時間：一日以上 にかかった費用：交通費、食費、宿泊費



おすすめポイント！

とにかく楽しい（語彙力...笑）

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから

このボランティアの内容

- ①語り部さんと断層見学
- ②お宅訪問
- ③木山仮設団地にて風鈴作り、風車作り、茶話会
- ④安永仮設団地にて海苔巻きづくり、スイカファチェづくり

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

毎日新しい気付きがありました。断層を実際に見てみたり、阿蘇大橋の崩落現場に行ってみたりしたことで、現地に行く大切さが分かりました。住民の方に地震当時のお話を伺ったとき、「生きた心地がしなかった」とおっしゃっていました。車庫が潰れている写真なども見せていただいたことで、いざという時のために備えておくことの大切さも感じました。

また、このボランティアでは毎晩「活動の振り返り」の時間がありましたが、その時間が濃かったです。泣きながら語っている仲間もいたことが印象的でした。皆で話し合うことも多く、その日の課題が分かって次に活かそうという姿勢で取り組むことが出来ました。

その時間を一緒に過ごしたことで参加した学生メンバーと仲良くなり、今でも一緒に授業を受けたり、遊びにいたり関係性が続いています。

協力して下さった方

濱本杏奈さん（経済学部2年生 / 女性）

参加した時期：2019年

誰と参加したのか：一人で

何回目の参加か：初めて



熊本地震現地ボランティア

実施場所：熊本県上益城郡益城町 ジャンル：災害支援
活動時間：一日以上 かけた費用：交通費、食費、宿泊費



おススメポイント！

楽しい。
自分で企画を考えられる。
現地の方とだけでなく、学生とのつながりも得られる。
災害について考えられる。

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから
友達の勧めで
人の役に立ちたいと思ったから

このボランティアの内容

仮設住宅でのものづくり企画の実施、お掃除など。阿蘇大橋の見学。

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

参加しているメンバーが関学の大学生であるため、距離が近く協力して取り組むことができました。ただ参加して終わりではなく、活動について振り返り、考える時間があるため、楽しくて勉強になります。また、実際に現地に行くことで、関西にいるだけでは知ることができない、現地の状況や人の思い・感情を知ることができます。（ライさん、文3、女性）

協力してくださった方

ライさん（文学部3年生 / 女性）

参加した時期：2018年

誰と参加したのか：1人で応募したが、複数の関学生と職員で参加した

何回目の参加か：初めて



熊本地震現地ボランティア

実施場所：熊本県上益城郡益城町 ジャンル：災害支援
活動時間：一日以上 かった費用：交通費、食費、宿泊費



おススメポイント！

日本のボランティアを体験できる。
災害ボランティアに参加できる。
国内の災害について学ぶ機会になる。
ボランティアの本質を考える機会になる。

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから
人の役に立ちたいと思ったから
社会経験のため

このボランティアの内容

予め企画した企画を通して熊本地震で被災された方と仮設住宅で交流しました。私は、靴下でぬいぐるみを現地のお年寄の方と作ったり、中国からの留学生を交えて中国紐をつくったりしました。男子は子どもたちと外で遊んでいました。

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

ボランティアに参加するにあたって「震災から2年も経過したのにまだ行く必要はあるのか？」「行って何をするのか？」「現地にわざわざ行く必要はないのでは？」など沢山の質問を受けました。では、実際に現地へ行って見て、震災から2年が経過した今でも現地でのボランティアは必要であるか。私の答えは「YES」です。

現在でも、熊本県内だけで約4万人の方が仮設住宅や公営住宅で生活しています。私は、実際に2つの仮設住宅を訪問しました。一見すると、その生活は落ち着いていて、住み慣れた家の雰囲気さえ出ている家庭もありました。しかしながら、色々な方が住んでいる仮設住宅では、もちろんトラブルも発生します。幾多もの家庭が壁一枚で隣同士に並んでいる様子は、とてもプライバシーを感じられるものではありませんでした。また、コミュニティーがない方は孤立してしまいがちです。仮設住宅で生活している大人が全員子どもが好きとは限りません。子どもは遊ぶ場所も遊び方も制限されています。さらに最大の問題は、仮設住宅はあくまでも仮設だということです。仮設、つまりいつかは取り壊されて無くなるのです。たとえ2年間住んでいても、生活が落ち着いてきても、そこはこれからずっと生活できる場所ではないのです。

退去予定は今年の3月でした。しかし、仮設住宅は延長されることが決定しています。ただし、延長には手続きが必要であるため、高齢者の方や障がいを抱えた方にはサポートが必要です。居住者は、仮設住宅はあくまでも仮設であるという現実と向き合わなくてはなりません。例えば、仮設住宅のコミュニティーです。私たちは今回仮設住宅を訪問して、様々な企画を行いました。その企画はあくまでも、コミュニティーを形成するツールです。1つの場所に集まり、茶話会や手芸等を行うことで、新たな人間関係を築き、孤立することを防ぎます。また、道路建設などもそうです。私たちは、阿蘇大橋を訪れました。阿蘇大橋は、山が崩れたことにより、一般道と繋がっていた橋が丸々落下しました。どこにでもあるような普通の一般道が、標識とわずかなガードレールのみ残して、その先が消えてしまっている様子にはゾッとしました。阿蘇大橋やその周辺では多くの方が亡くなりました。未だに阿蘇大橋周辺は震災当時の様子が多くみられます。電車や車が通れる道はできていません。そのすぐ隣にある、沢山の方が亡くなった東海大学農学部では学生が学校まで通う交通手段が殆どありません。これらの建設は、1年や2年で終わるものではありません。先が見えないほど時間がかかかります。

こうした、コミュニティーの形成や道路建設には、多くの方の支援がまだ必要です。復興のお手伝いをするボランティアがまだ必要です。熊本地震発生から3ヶ月で、ボランティアの数は一気に減ったそうです。確かに、その時その時で、ニーズは変化するでしょう。最初は避難所等での緊急物資の支援や瓦礫の撤去だったニーズが、仮設住宅等に人々が移ったことで見えにくくなりました。

取り壊しや家の再建が進んだことで町の景色は地震前に戻ったかのような場所もあります。しかし、ニーズは変化します。ボランティアに訪れたとして、支援を求める人が僅かしかいなかったら、そのボランティアはもう必要ないのですか。私はそうではないと学びました。その、僅かであっても、震災から2年経った今でも本当に支援を必要としている人がいたのです。ボランティアは自己満足でもいいと引率の先生が言ってくださいました。なぜなら、相手が満足できることを考えてでないと、自分が満足できないからです。

※内田さんが他団体で書いたコラムの一部です。

協力して下さった方

内田萌花さん（総合政策学部4年生 / 女性）

参加した時期：2018年

誰と参加したのか：団体で

何回目の参加か：初めて



台風19号長野県災害ボランティア

実施場所：長野県
活動時間：一日以上

ジャンル：災害支援
かかった費用：交通費、食費
ボランティア保険料



おすすめポイント！

他大学や社会人の方々と一緒に活動できるところ

このボランティアに参加した理由

授業で勧められたから
人の役に立ちたいと思ったから
社会経験のため

このボランティアの内容

瓦礫の撤去、写真洗浄

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

ボランティアと被災した方々とのコミュニケーションが大切だと思った。ボランティアが適当にしたら困るのは現地の人なので責任を感じた。

協力してくださった方

植田隆誠さん（総合政策学部2年生 / 男性）

参加した時期：2019年

誰と参加したのか：友達と

何回目の参加か：2回目



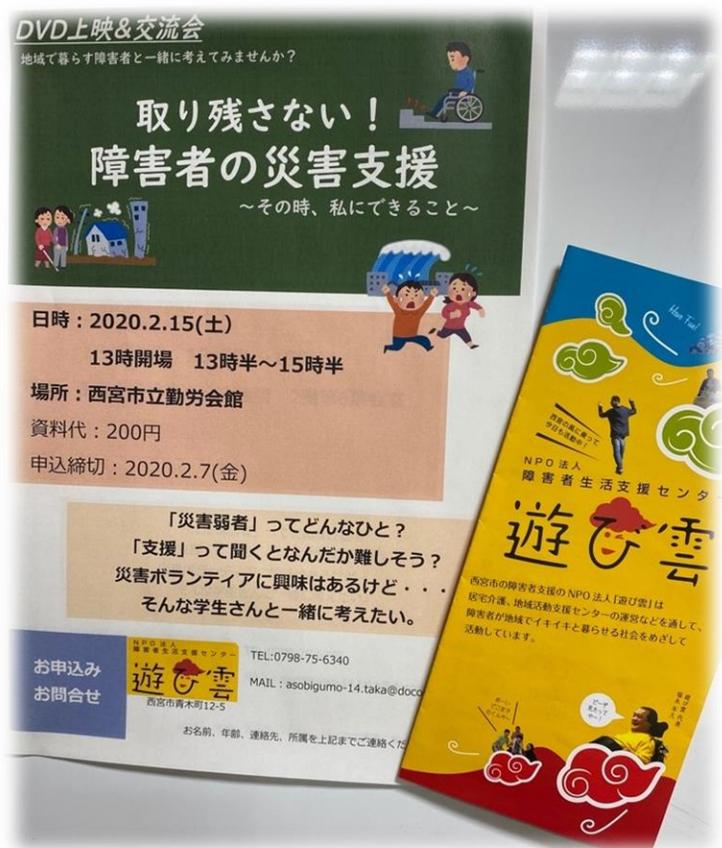
取り残さない！障害者の災害支援

実施場所：兵庫県西宮市

活動時間：半日

ジャンル：災害支援、
障害者支援

かかった費用：交通費



おススメポイント！

障害のある方やそのサポートをしてる職員の方から震災にあったときのことを直接聞いた。お話してて楽しい。

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから
社会経験のため

このボランティアの内容

過去の震災時の障害者がどのような状況だったのかをビデオを見た。その後、参加者とのトークセッション。

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

和気あいあいとした雰囲気。障害者の存在をもっと知ってほしいという思いを感じました。

協力してくださった方

ジェルマンさん（文学部3年生 / 女性）

参加した時期：2020年

誰と参加したのか：一人で

何回目の参加か：初めて

第5回日中NGO・ボランティア研修 交流事業

実施場所：中国四川省

活動時間：一日以上

ジャンル：国際交流

かかった費用：主催団体援助のため
自己負担分は約5万円



おすすめポイント！

災害発生当時のまま現場が保存されており、日本では見られないような生々しい光景に触れる機会がある事

このボランティアに参加した理由

水害被災地にて復興支援活動に参加し、災害ボランティアや、人に寄り添う事についてもっと学びたいと思ったから。

このボランティアの内容

- ・四川大地震の被災地をいくつか訪れ、住民の方に被災当時のお話を聞いて回った。
- ・震災当時、主催団体が救助に入った少数民族の村に行って、一緒に歌を歌ったり、料理を作ったり、被災当時のお話をきいた。
- ・震災に遭ってもびくともしなかったという、チベット族チャン族**1300**年の石造の伝統集落を訪問した。
- ・四川大学にて、日本での活動をお話したり、防災ダックで災害時の対応を身につけてもらったりした。また、防災等について現地の大学生と意見交換した。
- ・震災以来、現地に**10**年ほど住む日本人の方にお話を聞いた。
- ・三国志の聖地・錦里訪れたり、オペラ座にて変面を観劇するなど、四川の文化に触れた。



ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

被災地は、倒壊寸前の建物までもが震災当時のまま保存されており（建物の下敷きになっているご遺体もそのまま）、衝撃を受けた。現場を保存し、後世に伝える事も大切だと思うが、ご遺族の気持ちを考えるとやり切れない思いになった。また、現地の方に、大学で学んだ拙い中国語で話しかけると、喜んでコミュニケーションをとろうと応じてくださった。とても明るく快活な方が多い印象だったが、震災当時の話になると、皆顔が曇っていた。どこまで踏み込んでいいのか、どんな言葉をかけたらいいいのかとても悩んだ。思うことはあっても、中国語で上手に伝えられなかったのが悔しかった。村には北京語が通じないお婆さんもいて、直接の意思疎通が出来なかった。そこで、「朋友」という中国で有名な歌を覚えて歌ったところ、にっこり笑ってくれた。四川大学でもこの歌を歌うと、100人ほどの学生さんが一緒に笑顔で歌ってくれて、全身鳥肌がたった。この研修を通じ、言葉というツールが、自分の思いを伝える上でいかに大切か、という事を身に染みて感じた。しかし、このように「言葉の壁を越え、通じ合った」体験から、「人や物事に興味関心を持ち、ただ側にいておしゃべりをしたり、歌を歌う」という寄り添い方、支援の仕方もあるのではないかと感じた。私は現在も、この研修の主催団体の支援を受けつつ、災害支援活動に携わっている。そして、どうしたら人に寄り添う事ができるのか、未だに考え続けている。

協力してくださった方

西岡かりんさん（文学部4年生 / 女性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：ヒューマンサービス支援室専従コー
ディネーターの方と

何回目の参加か：初めて



たんぽぽ

実施場所：三田市福祉センター
活動時間：半日

ジャンル：障害者支援
かかった費用：交通費



おすすめポイント！

美味しいご飯が食べれます！！！！！！

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから

このボランティアの内容

知的障害者を持つ方が料理や工作をするのを補助

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

知的障害者の方とコミュニケーションを取ることは難しいですが、自分の意見が伝わった時の嬉しさがすごく好きです。

協力してくださった方

いぶちさん（理工学部2年生 / 女性）
参加した時期：2020年
誰と参加したのか：サークルの先輩と
何回目の参加か：3回目

YEVIS

実施場所：兵庫県西宮市
活動時間：半日

ジャンル：障害者支援
かかった費用：交通費、食費



おすすめポイント！

こども達との触れ合いができる

このボランティアに参加した理由

社会経験のため

このボランティアの内容

子供の世話、施設の掃除

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

和やかで子供一人一人のことを理解している感じだった

協力してくださった方

アオさん（院2年生）
参加した時期：2017年以前
誰と参加したのか：一人で
何回目の参加か：4回以上

自然とあそびの教室

実施場所：神戸市北区

活動時間：半日

ジャンル：自然

かかった費用：交通費、食費



おすすめポイント！

子供と触れ合う経験ができる。

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから
友達の勧めで

このボランティアの内容

ハイキング、火起こし、実験、ハンモックなど、
その他子供たちがやりたいこと。

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

何回か参加するうちに顔を覚えてもらえるのが嬉しい。

協力してくださった方

西原正悟さん（法学部3年生 / 男性）

参加した時期：2020年

誰と参加したのか：一人で

何回目の参加か：4回以上



ともだち食堂

実施場所：上大市

活動時間：半日

ジャンル：子ども・青少年

かかった費用：かからなかった



おすすめポイント！

子どもたちとたくさん遊べるところと、料理いろいろな世代や職業の人とお料理しながら交流できるところ。

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから
人の役に立ちたいと思ったから

このボランティアの内容

子ども食堂なので、ご飯の準備や会場のセッティングをお手伝いしたり、ご飯の配膳、後片付けをしたり、子どもたちと遊んだりしました。

※上記の内容はコロナ以前の内容です。現在は活動内容を一部変更しています。

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

参加されてる方が、いろんな経験をされている方ばかりで、お話を聞いているのがとても楽しかったです。小さい子と遊ぶのももちろんですが、大人の方とお話しする機会も貴重だと思っているので、すごく勉強になることが多かったです。普段あまり料理をしないので、毎回参加後に、次回までに絶対上達するぞ！！っていう気持ちになっていました。実際、料理をする頻度がすこーーーしだけ上がったと思います。（笑）

協力してくださった方

たなかさん（社会学部3年 / 女性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：友達と

何回目の参加か：3回目

さぽさぽ

実施場所：関西学院大学
聖和キャンパス内

ジャンル：子ども・青少年

活動時間：数時間

かかった費用：ボランティア保険料

学生ボランティア
募集中



『さぽさぽ』に遊びに来ませんか♪

学生の皆さまへ

関西学院聖和キャンパス山川記念館1階にある子育て支援事業「さぽさぽ」では、0歳から4歳のお子さまと保護者の方が遊びに来られています。ここでは、お子さまたちが自分の好きな遊びを見つけ、保護者の方やお友だち・学生さんと一緒に過ごしています。実習などの現場に行く前に0歳から4歳のお子さまと関わる経験をしませんか。

開館日：火曜日から土曜日

時間：10時～16時

場所：関西学院 西宮聖和キャンパス 山川記念館1階
子どもセンター 地域の子ども・子育て支援事業「さぽさぽ」



学生さん同士でお話中。
さぽさぽでどんなことしたい？



歌のお姉さんがコンサート
してくれました♪



大学の芝生で
風船あそびしたり・・・
シャボン玉遊びも
したいな・・・



絵本大好き。
いっぱい読んでね♪

少しでも行ってみたいなと思われたら「さぽさぽ」まで直接来ていただくか、
お問い合わせください。

⇒TEL：0798-52-4509

(火～土 9時30分～16時00分 ☆日・月・祝は閉室のため受付できません)

※見学の際は学生証をご持参いただき、職員に提示の上、来館の目的をお伝えください。

関西学院子どもセンター
地域の子ども・子育て支援事業 さぽさぽ

おススメポイント！

赤ちゃんと遊んでこっちまで癒されて、保護者の方にも感謝してもらえます。保護者の方の子育ての悩みが聞ける。

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから

このボランティアの内容

赤ちゃんと一緒に遊んだり、その中で怪我をしないように手助けしたり、保護者の方と趣味のお話をしたり、赤ちゃんを見守ったり、お昼寝を見守ったこともあります。赤ちゃんは一生懸命遊ぶので、こっちもかなり体力を使いますね...！保護者の方の大変さを知れます...！たまに絵本の読み聞かせ会とか、交流会とか、イベントもありましたね。月に一回土曜には、パパがひろばに来られるきっかけになるように「パパの日」というのもあります！

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

たまに赤ちゃんのお兄ちゃんやお姉ちゃんや幼稚園くらいの子が来ていたりするのですが、弟くんや妹ちゃんがいることで、少し寂しい思いをしていることが伝わってきたり…。あとは、赤ちゃんがおもちゃをなめるので、その度に保護者の方と一緒に拭いたりするのですが、赤ちゃんって舐めたい場所が一緒だったりするのかなって発見があって、面白かったです。基本的に開館時間のうち好きな時間に来て好きな時間に帰れるので、赤ちゃんと一緒に遊びたいなという軽い気持ちで通っていました。職員さんも優しくよく保護者の方や職員さんとおしゃべりして色々勉強になる話や雑学、ある分野の専門的な知識も聞けたりします！（保護者の方に博識な方が多いんです…！）コロナで活動ができていないのが寂しいです…。

協力してくださった方

ウパさん（文学部2年生 / 女性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：一人で

何回目の参加か：4回以上

ALIVE

実施場所：児童養護施設（阪急御影駅）
母子生活センター（JR舞子駅）

ジャンル：子ども・青少年、教育

かかった費用：交通費

活動時間：半日

ボランティア保険料



私たち ALIVE は、児童養護施設で生活している子供たちに勉強を教えたり、一緒に遊んだりしています。子供の成長を長期的に見守ることができるので、やりがいがあり、自分自身も成長できるサークルです！！

児童養護施設

📅活動日時

- ・毎週水曜日 18時30分～20時
- ※4限終わりの時間帯で活動しています！

📖活動内容

- ・18時30分⇒子どもたちに約30分間勉強を教えます！
- ・19時00分⇒子どもたちの勉強が終われば子供達と遊びます！
- ・19時30分⇒ミーティング(活動報告など)

📍活動場所

- ・児童養護施設信愛学園（阪急御影駅から徒歩約10分）

・私たちは3回生9人、2回生7人の計17人で活動しています。

・代表：川口桂衣(教育学部2回生) 連絡先：LINE⇒@ei-0109

📅活動日時

- ・不定期（平日）18時00分～20時
- ※3限終わりの時間帯で活動しています！

📖活動内容

- ・18時00分⇒子どもたちに約2時間勉強を教えます！
- ・20時00分⇒ミーティング(活動報告など)

📍活動場所

- ・母子生活支援施設コーポ歌敷山（行き JR 舞子駅から徒歩約15分）

mail⇒eof62533@kwansei.ac.jp

おすすめポイント！

施設で暮らす子供たちと直接かかわる事ができる！教材も学生で作るケースもあるので、色々工夫するのが楽しいです！

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから

このボランティアの内容

幼児さんや小学生、中学生を対象に勉強を教えます。教科は様々で、レベルも一人一人に合わせて教えていきます。基本的に週に1回程度大学の3限終わりとか、4限終わりとかに参加する感じで、大学の帰りにメンバーと2時間ほど一緒に活動します。教材をこちらから用意して、終わり次第一緒に遊ぶケースや、基本自習をされていて、分からないことがあれば教えるケースもあります。

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

施設だから、と不安に感じる方もいるかもしれませんが、子ども達は皆とても元気で明るいです。ただ、活動するうえでの注意事項はもちろんあって、それは施設の職員の方から丁寧に説明いただけます。イベントなどに参加する機会もあって、屋台のお手伝いや劇もしました。子供たちと活動する中で失敗してしまう事も多々ありましたが、職員の方やメンバー同士で協力し合って活動できるので、本当に貴重な経験が出来てるなと感じています。コロナで活動は出来ていない状況ですが、再開できる時を楽しみにしています。

協力してくださった方

ウパさん（文学部2年生 / 女性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：学内団体のメンバーとして他メンバーと共に参加しました。

何回目の参加か：4回以上

西宮地区BBS会

実施場所：兵庫県西宮市
活動時間：半日

ジャンル：子ども・青少年
かかった費用：なし



おすすめポイント！

非行少年の更生に、保護司の方や保護観察官の方をはじめ、沢山の社会人の方と一緒に関わられる！

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だから

このボランティアの内容

月に1回のmtgや、少年と1対1で遊んだり学習支援をする「友だち活動」をしたり、「グループワーク」という、保護観察処分になった少年と一緒に会員や保護司さんが遊ぶイベントを企画したり、広報活動もかねて祭りに参加したりします！

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

少年と関わる際に不安に思う方もいるかもしれませんが、実際に関わったからこそわかる、一人一人のいいところを沢山知ることが出来たように思います。関わり方については、研修などを通じて学ぶ機会もありますし、保護観察官さんや保護司さんと随時連携して、会員に無理のないようにしてくださっているなと感じています。何より、社会人の方と関わる機会が多いので、学生からだとは持てなかった視点を知る事ができたり、日々勉強になります。彼らが社会にあたたかく迎え入れてもらえるように、自分も積極的に活動していけたらと日々感じているところです。現在はオンラインを中心に、感染対策に気を付けたうえで学習支援も始まりつつあります。

協力してくださった方

ウパさん（文学部2年生 / 女性）

参加した時期：2020年

誰と参加したのか：西宮地区BBS会のメンバーと

何回目参加か：4回以上

大江神社夏祭り

実施場所：大江神社（谷町線
四天王寺前夕陽ヶ丘駅）

ジャンル：まちづくり
祭り・イベント

活動時間：半日

かかった費用：交通費



おすすめポイント！

お祭りの屋台のボランティアなので、一緒にお祭りを
楽しむことができました！

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから

このボランティアの内容

レトロなピンボール台の屋台のボランティアでした。地元のおじいちゃんおばあちゃんと一緒にピンボール台の当番をするのですが、皆さんお元気で圧倒されてました...！

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

夕方から夜にかけて活動したのですが、本当に皆さんお元気で、子どもも大喜びしてくれて本当に楽しかったです。隣の席のおじいさんから、「もっとおまけしてあげなさい」とたしなめられた時は、ハッとしました。子供を楽しませることを第一に活動するという点において新たな気づきでした。晩御飯はお弁当を用意してくださっていて、一緒に参加した友人と、今回のボランティアの担当者の方と一緒にご飯を食べながら色々お話したことを覚えています。最初から最後までずっとはしゃぎつつ楽しんで活動していたように思います。

協力してくださった方

ウパさん（文学部2年生 / 女性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：友達と

何回目の参加か：はじめて

納涼祭

実施場所：甲山福祉センター
にしのみや苑

ジャンル：福祉（高齢）
祭り・イベント

活動時間：半日

かかった費用：交通費
ボランティア保険料



おすすめポイント！

自分たちもカレーや焼きそばなどのご飯を食べられること

このボランティアに参加した理由

就活に役立てるため

このボランティアの内容

一人一人に担当する方がいらっしゃって一対一でお話したり、一緒に盆踊りを見たりご飯を食べたりした。

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

お祭りはとても賑やかに楽しく行うことができた。話題に困りそうかなと思っていたけど実際には楽しくおしゃべりすることができた。特に一緒にご飯を食べた時は楽しかった。

協力してくださった方

けんけんさん（商学部2年生 / 男性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：一人で

何回目の参加か：はじめて

大阪マラソン

実施場所：大阪城公園

活動時間：一日

ジャンル：スポーツ

祭り・イベント

かかった費用：交通費



おすすめポイント！

荷物を渡したときに、ランナーから「ありがとう」と声をかけられるところ。

このボランティアに参加した理由

友達の勧めで

このボランティアの内容

返ってきたランナーに、手荷物を渡す活動

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

みんなで盛り上がっていてお祭りのようだった。

協力してくださった方

稲田康平さん（文学部3年生 / 男性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：多くの学生COと

何回目の参加か：2回目

大阪マラソン

実施場所：大阪城公園

活動時間：半日

ジャンル：スポーツ

祭り・イベント

かかった費用：交通費



おすすめポイント！

とにかく楽しかった！

このボランティアに参加した理由

友達の勧めで
人の役に立ちたいと思ったから
社会経験のため

このボランティアの内容

荷物の引き渡し

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

走り終わった人相手だったのですが皆さん気さくで優しくかったです！

協力してくださった方

まいさん（文学部2年生 / 女性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：COで参加しました！

何回目の参加か：はじめて

大阪マラソン

実施場所：大阪城公園

活動時間：半日

ジャンル：スポーツ

祭り・イベント

かかった費用：交通費



おすすめポイント！

一大イベント「大阪マラソン」にかかわれて、ランナーの方と直接やり取りができる！

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから

このボランティアの内容

ゴールした後のランナーさんに荷物をお返りする活動でした。3人1組になってランナーさんの番号を確認して、それと一致する荷物を、大量の荷物の中から探し出してお渡しします。

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

最初はランナーさんが少なかったので順調でしたが、途中からゴールするランナーさんが急に増えて、早く探さないと混雑するのでとても大変でした。また、結構荷物も大きいので、かなり体力も使った印象です...！でも、ゴールしきって達成感に満たされたランナーさんを見ているとこっちまで元気が出てきて、とても幸せな気分になった事を覚えています。

協力してくださった方

ウパさん（文学部2年生 / 女性）
参加した時期：2019年
誰と参加したか：友達と
何回目の参加か：はじめて

ふらっとパーク

実施場所：地域共生館ふれぼの
活動時間：半日

ジャンル：まちづくり、福祉
かかった費用：かからなかった



おすすめポイント！

いろいろな人と出会えること

このボランティアに参加した理由

活動が魅力的だったから
社会経験のため

このボランティアの内容

ものづくり、体験活動、障害者スポーツなど

ボランティアの雰囲気や様子、感じたこと

雰囲気は、ほんとに温かいです！参加してくださる方が、2.3歳から80歳ぐらまでと幅が広く、障害のある方もスタッフとして、参加者として、活動と一緒にするため、ほんとにいろいろな人との出会いがあります。いろいろな方々と一緒に同じ空間で同じ事を楽しめることが1番の魅力だと感じました。

協力して下さった方

まーさん（教育学部1年生 / 女性）

参加した時期：2019年

誰と参加したか：大学生の方がいました。

何回目の参加か：4回以上

関西学院大学 ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室